

3 集落営農用“経営管理チェックリスト簡易版”を開発

ねらいと成果

持続的な経営体を目指す営農組織は、総合的な視点による経営管理の強化が必要である。そこで、経営管理実態が把握できるソフトウェア「経営管理チェックリスト」を開発した。初期版では200を超える項目のチェック入力に3時間も要したため、改めてチェックリスト項目数の見直しを行い、31項目に抑えた「経営管理チェックリスト簡易版（以下「簡易版」）」を開発した（図）。

簡易版は1時間程度で回答でき、経営管理の“見える化”によって新たな“気づき”を与えることができた。

内容

簡易版では、理念・方針等、組織運営、農地、投資判断、経営診断等、生産技術、地域連携、政策対応、環境保全の9分野の経営管理項目について、収益性、継続性、社会性の観点から集落営農組織として実行すべき31項目を設定している。

それぞれの項目を分かりやすくするためにチェック内容欄を設けて具体的な内容を例示している。チェック作業はその実行の有無を一問一答形式で「4点：十分に行っている」から、「0点：全く行っていない」まで5段階で回答入力する。すべての回答

が「3点：行っている」以上であることが望ましく、かつ各項目を偏りなく取り組んでいることが理想である。診断結果は9分野ごとに集計され、経営管理上の長所・短所分野の“見える化”ができて、新たな“気づき”を与えることが可能となる。

本ソフトは組織のマネジメント強化を目的とした支援ツールであり、加古川市内の営農組織において適用を試みた結果、収益性、継続性、社会性における組織の強み、弱みが明らかとなった。

さらに高度な診断ソフトウェアとして、73項目を追加した「経営管理チェックリスト完全版（104項目）」を別に開発している。経営計画、財務管理、生産管理、労務管理、情報管理、販売管理の6領域に診断項目を広げて、詳細な経営管理状況の診断を行うことができる。

今後の方針

開発ソフトウェアの活用場面として、営農組織の役員がそれぞれチェックを行い、認識のズレがないかを確認するなど、経営管理に関する話し合いの糸口としての活用などを想定している。現地での試行を重ね、現地適応性を高める。

加藤 雅宣（農産園芸部）

（問い合わせ先 電話：0790 - 47 - 2440）

経営管理項目	項目NO	チェック内容	十分に行っている ←→ 全く行っていない				
理念方針・リーダーシップの評価	1	経営理念・運営方針を取り決めて、文書にして掲げている。	4	3	2	1	0
	2	経営理念・運営方針を作業オペレータ、出役者が知っている。	4	3	2	1	0
	3	組合員の組織に対する考え方を把握している。	4	3	2	1	0
	4	組合の運営方針を定期的に見直している。	4	3	2	1	0
	5	改善・改革の提案を率先して行っている。	4	3	2	1	0
組織運営の評価	9	各担当部門の役割、分担内容を明確にしている。	4	3	2	1	0
	10	組合長の補佐、担当部門の総括者であるサブリーダーを1人以上確保している。	4	3	2	1	0
	11	若い担い手や女性が組織運営に参加できるように心がけている。	4	3	2	1	0
		12	オペレータ、出役者の能力を把握している。	4	3	2	1
13	役員業務を円滑に引き継ぐためのルールがある。	4	3	2	1	0	

「経営管理チェックリスト簡易版」のチェック項目例